豊田	工業高等	専門学校	開講年度	平成30年度 (2	2018年度)	授	業科目	基礎解析	· III	
科目基礎	情報									
斗目番号		03123			科目区分		一般 / 選	沢必修(数)		
受業形態		講義			単位の種別と単位数 履修単位: 1					
報設学科			環境都市工学科			対象学年 3				
記述 3 1 1 <u>1</u> 乳設期		前期				週時間数 2				
<u>1982/93</u> 20科書/教札	,	「新編高	削期 「新編高専の数学2,3(第2版)」(森北出版)			ISBN: 978-4-627-04823-2, 978-4-62		978-4-627	-04833-1/	「新編高専
	<u> </u>	数学2, 3	問題集(第2版).	」(森北出版) ISB	N: 978-4-627-04	1852-2	, 978-4-6	27-04862	-1, 教材プリ	ント
旦当教員		吉澤 毅,(左々木 祐,笠井 剛							
到達目標										
イ)関数の	増減を計算	ひ様々な1変 算し, 関数の 票の関係を理	数関数の微分ができ極大・極小を求め、解している.	きる. ることができる.						
レーブリ	ック]			1		
			理想的な到達し		標準的な到達レヘ	いいの目	安	未到達レ	ベルの目安	
 評価項目(ア) 			数の微分ができ る.	数の似力ができ、心用问題が胜り ;		逆三角関数を含む様々な1変数関 数の微分ができる.			数を含む様々 ができない. 	な1変数関
評価項目(~	1)		関数の増減を計・極小を求める 問題が解ける.	関数の増減を計算し、関数の極大 ・極小を求めることができ、応用 問題が解ける.		関数の増減を計算し、関数の極大 ・極小を求めることができる.		関数の増減を計算し, 関数の極, ・極小を求めることができない.		関数の極大 できない.
評価項目(5	 ל)			歴標の関係を理解し	極座標と直交座標	票の関係	 を理解し	極座標と	直交座標の関 ・	係を理解し
一	達日煙T	頁目との関			1 CV : Ø1			1 0		
チャキレクション 本校教育目			INK							
教育方法		ヒナノノ								
		第2学年 関数,積	で学習した微分法の微分法, 商の微	における基本的な考 分法,合成関数の微	え方(微分係数や導分法)および導関数	導関数の 数の簡単)定義とそ 単な応用(の意味)や調増減表の作品	計算技法(初 成、極値を求	等関数の導 めること等
既要) を踏ま 目指す. について	え, より多様な関 また, いわゆる「, 学ぶが, パラメー	数に対する導関数の パラメータ(媒介変 タを時間を表す変数	計算技能の修得や, 数)」を用いた曲線 と解釈すれば,平面	個々の 線の表現 面上の点	D関数の性見を学ぶ、 同の運動を	質をより深 本科目では 表すものと	く把握する技 ,主として平 考えることが	法の習得を 面内の曲線 でき、物理
										/
		学に基本を学ぶ.	的な応用例を求め	られる内容である.	最後に,不定形の植	w️限値の	対算にお	いて極めて	効果的なロピ	タルの定理
 受業の進め	方・方法	学に基本を学ぶ.	的な応用例を求め	られる内容である.	最後に,不定形の植	w︎限値の	計算にお	いて極めて	効果的なロピ	タルの定理
	方・方法	字に基本を学ぶ.	的な心用例を求め	られる内容である. 	最後に,不定形の極	∞限値の	計算にお	いて極めて	効果的な口と	タルの定理
受業の進め 注意点	方・方法	字に基本を学ぶ.	的な心用例を求め 	られる内容である. 	最後に,不定形の極	∞限値の	計算にお	いて極めて	効果的な口と	タルの定理
注意点		字に基本 を学ぶ. 授業中に 業を進め	的な心用例を求め 一定量の復習的内 る.	られる内容である. 	最後に,不定形の極	∞限値の	計算にお	いて極めて	効果的な口と	タルの定理
i意点 選択必修	の種別	学に基本を学ぶ、	円な心用例を求め 一定量の復習的内 る.	られる内容である. 	最後に,不定形の極	∞限値の	計算にお	いて極めて	効果的な口と	タルの定理
i意点 選択必修	の種別	学に基本を学ぶ. 授業中に業を進め・旧カリ科	的な心用例を求め 一定量の復習的内 る。 目名	られる内容である. 	最後に、不定形の格	wkleo.)計算にお ,B] まで <i>0</i>	の内容を修得	効果的な口と	タルの定理
i意点 選択必修	の種別	字に基本を学ぶ. 授業中に業を進め・旧カリ科	的な心用例を求め 一定量の復習的内 る. 目名 授業内容	られる内容である. 容を行いはするが,	最後に、不定形の種基本的には「基礎類	國限値の 解析IIA, 週ごとの	D計算にお ,B 」までの の到達目標	の内容を修得	効果的な口と	タルの定理
t意点 選択必修	の種別	字に基本を学ぶ. 授業中に業を進め・旧カリ科 週 1週	一定量の復習的内容る.目名授業内容逆関数とその導関	られる内容である。 容を行いはするが, 数	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析	國限値の 解析IIA, 週ごとの 初等的が	D計算にお ,B」までの の到達目標 な逆関数の	いて極めて外のである。 の内容を修得 では、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 の	対果的な口と	タルの定理
i意点 選択必修	の種別	字に基本 を学ぶ. 授業中に 業を進め ・旧カリ科 週 1週 2週	門な心用例を求め一定量の復習的内容る・目名授業内容逆関数とその導関逆三角関数の定義	られる内容である。 容を行いはするが, 数	基本的には「基礎解析	◎限値の 解析IIA。 週ごとの 初等的が 逆三角間	D計算にお ,B」までの の到達目標 な逆関数の 関数の定義	いて極めて、 D内容を修得 導関数が導 を理解する	効果的な口と 引していること	タルの定理
t意点 選択必修	の種別	字に基本 を学ぶ. 授業中に 業を進め ・旧カリ科 週 1週 2週 3週	門な心用例を求め一定量の復習的内容る・目名授業内容逆関数とその導関逆三角関数の定義逆三角関数の導関	られる内容である。 容を行いはするが, 数 数	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析		D計算にお ,B」までの の到達目標 な逆関数の 関数の定 関数の導限	いて極めて、 D内容を修復 選関数が導 を理解する 関数が計算で	効果的な口と 引していること	タルの定理
i意点 選択必修	の種別	字に基本 を学ぶ. 授業中に 業を進め ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週	門な心用例を求め一定量の復習的内容目名授業内容逆関数とその導関逆三角関数の定義逆三角関数の導関1変数関数の微分	られる内容である。 容を行いはするが, 数 数 法	最後に、不定形の格基本的には「基礎的		の到達目標 の到達目標 は逆関数の定義 関数の連襲 関数の導限 関数の機分	いて極めて、 の内容を修作 導関数が導 を理解する 数が計算で できる	対果的なロビ 引していること はける ききる	タルの定理
i意点 選択必修	の種別	字に基本。 授業中に 業を進め ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週	のない用例を求め 一定量の復習的内 る. 目名 授業内容 逆関数とその導関 逆三角関数の定義 逆三角関数の導関 1変数関数の微分 1変数関数の増減	られる内容である。 容を行いはするが, 数 数 法	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析		の到達目標 の到達目標 は逆関数の 関数の導関 関数の微分 関数の間 関数の間	いて極めて、 の内容を修得 導関数が導 を理解する 数が計算で できる 後を計算でき	対果的なロビ 引していること はける ききる	タルの定理
i意点 選択必修	の種別	字に基本。 授業中に 業を進め ・旧カリ科 ・旧カリ科 1週 2週 3週 4週 5週 6週	一定量の復習的内容 る. 目名 授業内容 逆関数とその導関 逆三角関数の連関 逆三角関数の導関 1変数関数の機分 1変数関数の増減 第2次導関数	おれる内容である. 容を行いはするが, 数 数 法	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析		の到達目標 の到達目標 は逆関数の定義 関数の連襲 関数の導限 関数の機分	いて極めて、 の内容を修得 導関数が導 を理解する 数が計算で できる 後を計算でき	対果的なロビ 引していること はける ききる	タルの定均
主意点 選択必修	の種別	字に基本。 授業中に 業を進め ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週	のない用例を求め 一定量の復習的内 る. 目名 授業内容 逆関数とその導関 逆三角関数の定義 逆三角関数の導関 1変数関数の微分 1変数関数の増減	おれる内容である. 容を行いはするが, 数 数 法	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析	國限値の 解析IIA, ご等的が 逆三角腫 1変数に 1変数に 第2次に 曲線のに	の到達目標 い到達目標 は逆関数の 関数のの導 関数の増調 関数の増調 関数の増調 算数のとグラ	いて極めて、 の内容を修得 の の の の の の の の の の の の の	対果的なロヒ 詳していること はける ・ ききる ・ 、基礎的な問	タルの定均とを前提に対象を
注意点 選択必修 受業計画	の種別	字に基本。 授業中に 業を進め ・旧カリ科 ・旧カリ科 1週 2週 3週 4週 5週 6週	一定量の復習的内容 る. 目名 授業内容 逆関数とその導関 逆三角関数の連関 逆三角関数の導関 1変数関数の機分 1変数関数の増減 第2次導関数	おれる内容である。	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析	國限値の 解析IIA, ご等的が ご等角間 1 変数数 1 変数数 第 3 次ののののののののののののののののののののののののののののののののののの	の到達目標 い到達目標 は逆関数の 関数のの導 関数の増調 関数の増調 関数の増調 算数のとグラ	いて極めて、 の内容を修得 の の の の の の の の の の の の の	対果的なロヒ 引していること はける ききる	タルの定均とを前提に対象を
注意点 選択必修 受業計画	の種別	字に を学ぶ. 授業を進め ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	一定量の復習的内容 る. 目名 授業内容 逆関数とその導関 逆三角関数の違 逆三角関数の導関 1変数関数の端分 1変数関数の増減 第2次導関数 曲線の凹凸とグラ 曲線の媒介変数方	られる内容である。 容を行いはするが, 数 数 法 フ 程式	最後に、不定形の相基本的には「基礎解析	國限値の 解析IIA, 週初逆三角 直変数 1変数 1変数 1変数の 曲線のが	の到達目標の の到達目標の 対数のの導関数のの導度 関数のの増減 関数の増減 関数の増減 関数の増減 関数の増減 関数のが 関数ので 関数ので 関数ので 関数ので 関数ので 関数ので 関数ので 関数ので	いて極めて、 の内容を修得 のは、 の内容を修得 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、 のは、	対果的なロピーはいることはいる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	タルの定均とを前提に対象を
注意点 選択必修 受業計画	の種別	字に を学ぶ. 授業中に 選を進め・ ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週	一定量の復習的内容 る. 目名 授業内容 逆関数とその導関 逆三角関数の定義 逆三角関数の増減 1変数関数の増減 1変数関数の増減 第2次導関数 曲線の凹凸とグラ 曲線の媒介変数方 曲線の媒介変数方	ちれる内容である。 容を行いはするが, 数 数 法 フ 程式 程式の微分	最後に、不定形の根基本的には「基礎解析	國限値の 選挙が 選挙が が一をのか が一をのか が一をのか が一をのか が一をのか が一をのか がしている。 できるのでは、 できる数では、 できる数では、 できる数では、 のののが ののののが ののののが のののののが のののののが のののののが ののののののが のののののののの	の計算にお の到達目標 の到達関数の 関数の にいる。 にい。 にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にい	いて極めて、 の内容を修得 導関数が導える を理解する はを計算さる にを計算さる にを計算さる にを計算さる にを計算さる には、これを理解 には、これを理解 には、これを理解 には、これを理解	対果的な口と はける ききる る 、基礎的な問 し、基礎的な	タルの定均とを前提に対象を
注意点 選択必修 受業計画	の種別	字に を学ぶ. 授業中に 選を進め ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週	一定量の復習的内容 一定量の復習的内容 る. 目名 授業内容 逆関数とその導関 逆三角関数の違調 1変数関数の増減 第2次導関数 曲線の凹凸とグラ 曲線の媒介変数方 極座標と直交座標	ちれる内容である。 容を行いはするが, 数 数 法 フ 程式 程式の微分	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析を表現している」	國限値の 選が逆逆逆三年 第三年 1 第二年 1	の到達目標の の到達目標の が関数のの導関数のの調整を 関数のの調整を 関数のの調整を 関数のののでである。 関数ののでは に ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは ののでは のので	いて極めて、 の内容を修得 導関数がする 数が計る を計算を対する を計算を対する はを計算を はを対する はを対する はを対する には、	対果的な口と はける ききる 、基礎的な問題とし、基礎的な問題といてきる。	タルの定ちとを前提にごとを前提にごという。 おいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい
注意点 選択必修 受業計画	の種別	字で学ぶ、 授業中に 選を進め ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週	一定量の復習的内容 る. 目名 授業内容 逆関数とその導関 逆三角関数の導関 1変数関数の側角 1変数関数の増減 第2次導関数 曲線の関立とグラ 曲線の媒介変数方 極座標と直交座標 極座標による媒介	ちれる内容である。 容を行いはするが, 数 数 法 フ 程式 程式の微分	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析を持ち、	國限個の 選売では、 選売では、 選売では、 選売では、 選売では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の計算におります。 の到達関数ののの数と変数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数	いて極めて、 ででである。 ででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では	対果的なロヒ 引していること はける きる を基礎的な問題 できる を取する を求められる	別題が解けるは問題が解ける
注意点 選択必修 受業計画	の種別	字で学ぶ. 授業中にめ ・旧カリ科 ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週	では、	ちれる内容である。 容を行いはするが, 数 数 法 フ 程式 程式の微分	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析	國際個の 週初逆逆1第曲曲る曲極極不 でいる。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	の記算におりまでの の記算関数ののの関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関	いて極めて、 の内容を修得 はいう。 はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいいのでは、は、は、はいのでは、はいのでは、は、はいのでは、はいのでは、はいのでは、はいのでは、は、は、は、はいいのでは、はいでは、はい	対果的な口と はける ききる 、基礎的な問題とし、基礎的な問題といてきる。	別題が解けるは問題が解ける
注意点 選択必修 受業計画	の種別 i	字で学ぶ. 授業中に 選を ・旧カリ科 ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	一定量の復習的内容 一定量の復習的内容 る. 目名 授業内容 逆関数とその導関 逆三角関数の微分 1変数関数の微分 1変数関数の増減 第2次導関数 曲線の媒介変数方 曲線の媒介変数方 極座標による限値 回ピタルの定理	ちれる内容である。 容を行いはするが, 数 数 法 フ 程式 程式の微分	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析を持ち、	◎ 解析IIA, 週初逆逆11第曲曲る曲極極不口 1 第二三数 2 次のの の 標標 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で 1 で	の計算におりまでの のは関関関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連を関連	いて極めて、 の内容を修得 「導関数が可能を には、	対果的な口と はける はける ききる を基礎的な問題が できる はを求められる を必要的な問題が	別題が解けるは問題が解ける
注意点 選択必修 受業計画	の種別 i	字で学ぶ. 野業を中にかける。 ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 13週 14週	一定量の復習的内部 一定量の復習的内部 一定量の復習的内部 一定量の復習的内部 一定量の復習的内部 一定量の復習的内部 一定関数とその導関 逆三角関数の領域 1変数関数の増減 第2次導関型とグラ 曲線の媒介変数対 曲線の媒介変数方 極座標による極極による極極による原植 でででででででである。 一位では、一位では、一位では、一位である。	される内容である。 容を行いはするが、 数 数 数 程式 程式の微分 変数方程式	最後に、不定形の相差本的には「基礎解析を持ち、	國際 解析IIA, 週初逆逆11第曲曲る曲極極不口この 1 第 1 第 2 次の 2 次の 2 次の 3 次の 3 次でである。	の計算におりまでの のは関数数数数関数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数	いて極めて、 「「「「「「」」」では、「」」には、「」」には、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」	対果的な口と はける はける きる をある を必要をある。 をできる を変する を変する を変する を変する を変する を変する を変する を変す	別題が解けるは問題が解ける
注意点 選択必修 受業計画	の種別 i	字で学ぶ、 授業中にめ ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	一定量の復習的内容 一定量の復習的内容 る. 目名 授業内容 逆関数とその導関 逆三角関数の微分 1変数関数の微分 1変数関数の増減 第2次導関数 曲線の媒介変数方 曲線の媒介変数方 極座標による限値 回ピタルの定理	される内容である。 容を行いはするが、 数 数 数 程式 程式の微分 変数方程式	最後に、不定形の相差本的には「基礎解析を持ち、	國際 解析IIA, 週初逆逆11第曲曲る曲極極不口この 1 第 1 第 2 次の 2 次の 2 次の 3 次の 3 次でである。	の計算におりまでの のは関数数数数関数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数	いて極めて、 の内容を修得 「導関数が可能を には、	対果的な口と はける はける きる をある を必要をある。 をできる を変する を変する を変する を変する を変する を変する を変する を変す	別題が解けるは問題が解ける
選択必修受業計画	の種別 i 1stQ 2ndQ	字で学ぶ、 授業中にめ ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	一定量の復習的内容 一定量の復習的内容 三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	される内容である。 容を行いはするが、 数 数 数 注 フ 程式の微分 変数方程式	最後に、不定形の相差本的には「基礎解析を持ち、	國際 解析IIA, 週初逆逆11第曲曲る曲極極不口この 1 第 1 第 2 次の 2 次の 2 次の 3 次の 3 次でである。	の計算におりまでの のは関数数数数関数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数	いて極めて、 「「「「「「」」」では、「」」には、「」」には、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」	対果的な口と はける はける きる をある を必要をある。 をできる を変する を変する を変する を変する を変する を変する を変する を変す	別題が解けるは問題が解ける
E意点 選択必修 受業計画 が期	の種別 i 1stQ 2ndQ	字で学本. 授業中にめ ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復興数の導題。 一定更角関数の過程。 一定更角関数の増加。 第2次導関数。 一定の関係の関係で変数を重認のが関係で変数を重認のが関係で変数を重認をである。 一定がある。 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、	される内容である。 容を行いはするが、 数数 数 数 表 理式 程式の微分 変数方程式	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析を持ち、	國際 解析IIA, 週初逆逆11第曲曲る曲極極不口この 1 第 1 第 2 次の 2 次の 2 次の 3 次の 3 次でである。	の計算におりまでの のは関数数数数関数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数数	いて極めて、 「「「「「「」」」では、「」」には、「」」には、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」は、「」	対果的な口と はける きる を基礎的な問題ができる。 を求められる。 を求められる。 を求められる。	別題が解ける。
選択必修選択必修	の種別 i 1stQ 2ndQ	字で学ぶ、 授業中にめ ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週	一定量の復習的内容 一定量の復習的内容 三十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	される内容である。 容を行いはするが、 数 数 数 程式の微分 変数方程式 章目標 学習内容の到達目	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析を持ち、	∞ 解析IIA, 過初逆逆11第曲曲る曲極極不口こ前 でいます 1 第 曲曲る 曲極極不口 こ前 との 角角数 数次のの の で標標形のますの でいます 1 できます 1 できまます 1 できます 1 できまます 1 できままます 1 できまます 1 できまます 1 できまます 1 できまます 1 できままます 1 できままます 1 できままます 1 できまままます 1 できままます 1 できまままままままます 1 できままままままままままままままままままままままままままままままままままま	のは関関関関関関関関関関関関関関関のののの数とでである。 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	いて極めて、 「学を修作」では、 「学を修作」では、 「学を修作」では、 「学をできます。では、 「学をできます。」では、 「学をできますます。 「学をできます。」では、 「学をできます。 「できますます。 「できますます。 「できますますます。 「できますますます。 「できますますますます。 「できますますます。 「できまますますます。 「できまますますますますますます。 「できまますまますますまますますまますままままままままままままままままままままま	対果的な口と はける はける きる をある を必要をある。 をできる を変する を変する を変する を変する を変する を変する を変する を変す	タルの定均とを前提に対して 対して 対して が解ける が解ける 授業週
選択必修選択必修	の種別 i 1stQ 2ndQ	字で学本. 授業中にめ ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復興数の導題。 一定更角関数の過程。 一定更角関数の増加。 第2次導関数。 一定の関係の関係で変数を重認のが関係で変数を重認のが関係で変数を重認をである。 一定がある。 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、	される内容である。 空を行いはするが、 数数 数 法 フ 程式の微分 変数方程式 学習内容の到達目 学習内関数を理解 ・ 関数の増減表を理解 ・ 関数の増減表を書	最後に、不定形の格基本的には「基礎解析を持ち、	國際解析IIA, 週初逆逆1第曲曲る曲極極不口こ前 三等三三変変と線線、線座座定じれ期ので が関係を表する。 のかりでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	のは関関関関関関 は、	いていたでは、いていたでは、いていたでは、いていたでは、いていたでは、いていたでは、いったでは、いったでは、いったでは、いったが、いったが、いったが、いったが、いったが、いったが、いったが、いったが	対果的な口とはいることはいることはいる。 はいるではる。 をではないできる。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでする。 をでき。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とできる。 とでき。 とできる。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。 と。	別題が解ける
E意点 選択必修 受業計画 が期	の種別 i 1stQ 2ndQ	字で学本. 授業中にめ ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復興数の導題。 一定更角関数の過程。 一定更角関数の増加。 第2次導関数。 一定の関係の関係で変数を重認のが関係で変数を重認のが関係で変数を重認をである。 一定がある。 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、	おれる内容である。 容を行いはするが、 数数 数 程式の微分 変数方程式 学習内容の到達目 学習内容の到達目 逆三角関数を理解 関数の増減表を書 できる。	最後に、不定形の権 基本的には「基礎解 標 し、逆三角関数の導 いて、極値を求め、	國際解析IIA, 週初逆逆11第曲曲る曲極極不口こ前 関関である。 関関である。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが見りでする。 では、このが、このが、このが、このが、このが、このが、このが、このが、このが、このが	の記算関関関関リアストラー のいる関連を関する でのののののののののののののののののののののののののののののののののののの	い CODD C	対果的なロヒー は は は は は は は は は ま る は は は は ま る は は は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は は な は な は は な は は な は	タルの定均 上を前提に 記 記 記 記 記 記 が解 い る 、 に に う が 解 け る う う う う う う う う う う う う う う う う う う
選択必修受業計画	の種別 1stQ 2ndQ	字で学本. 授業中にめ ・旧カリ科 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 11週 11週 11週 11週 11週 11	一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復興数の導題。 一定更角関数の過程。 一定更角関数の増加。 第2次導関数。 一定の関係の関係で変数を重認のが関係で変数を重認のが関係で変数を重認をである。 一定がある。 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、 一でが、	される内容である。 容を行いはするが、 数 数 数 程式の微分 変数方程式 程式の微分 変数方程式 学習月関数を理解 学習の見関数を理解 できる。 極値を利用して、	最後に、不定形の根 基本的には「基礎解析を表現して、逆三角関数の導	國初逆逆11第曲曲る曲極極不口こ前 舅 グ値値の と的角角数数次のの め標標形のまの ラーマ	のは関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関関のののの数と変変では、です。 一のは関関のののの数と変変では、です。 でするでするでは、でするです。 のでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするできなできないできなできなできなできなでするです。 のでするでするでするでするでするでするですです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするですでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするですでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするです。 のでするでするでするです。 のでするでするでするでするです。 のでするでするでするですです。 のでするでするですでするですですですですです。 のでするですですですですですですですです。 のでするですですですですです。 のですでするですですですですですです。	い の 内 で で を 修 で を の で を の で を の で を の で を の で を の で を の で を の で で の の の に の の の の の の の の の の の の の	対果的なロヒーはない。 はける。 さきる。 をしていることではる。 をでする。 をでする。 をでする。 を使めな問題がはいます。 を使めな問題がある。 をでする。 を使めな問題がある。 を使めな問題がある。 を使めないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むないできる。 を使むな。 を使むな。 をできる。 を使むな。 をををををををををををををををををををををををををををををををををををを	タルの定均 上を前提に対 に問題が解いる が解ける 授業週 前2,前3
選択必修要業計画	の種別 i lstQ 2ndQ	字を学 ・ 旧力リ科 ・ 担遇 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 113週 113週 115週 115週 115週 115週 115週	門な心用例を求める。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定型力のとと数数の関数のの増加を変数関数のの増加を変数関数のの増加を変数の関数のの関連をでは、 一定のでは、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定	おれる内容である。 容を行いはするが, 数数 数 数 程式の微分 変数方程式 章目標 「習四内関数を理解 関数の増減表を理解 関数る。 極値を利用して、 簡単な場合につい。	最後に、不定形の権 基本的には「基礎解 標し、逆三角関数の導 いて、極値を求め、 関数の最大値・最小 て、関数の接線の方	國際解析 週初逆逆11第曲曲る曲極極不口こ前	のは関関関関関関関関関関関関関関関関 (A) は関関関関関関関 (B) は関関関関関関関関 (B) は関リアン (B) が、	い の内 で で を 修 で を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の を の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で る の で の で の で の で の で の の で の で が の で の で の で の で の で の で の で の で の の で の の で の の の の の の の の の の の の の	郊果的な口と はける はける きる る。 を基礎的な問題か できる。 を求められる ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 ででする。 でできる。 でできる。 できる。 できる。 できる。 できる。 できる。	タルの定均 上を前提に 記 記 問題が解い る が解ける 一 授業週 前2,前3 前7 前7 前7,前9
選択必修受業計画前期	の種別 i lstQ 2ndQ	字を学 ・ 旧力リ科 ・ 担遇 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 113週 113週 115週 115週 115週 115週 115週	門な心用例を求める。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定量の復習的内容。 一定型力のとと数数の関数のの増加を変数関数のの増加を変数関数のの増加を変数の関数のの関連をでは、 一定のでは、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定では、一定	される内容である。 容を行いはするが、 数 数 数 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	最後に、不定形の権 基本的には「基礎解 標し、逆三角関数の導 いて、極値を求め、関数の最大値・最別	國初逆逆11第曲曲る曲極極不口こ前 舅 グ 値程 を値 と的角角数数次のの の標標形のまの ちって式 調	のは関関関関関関関関関 は、東とこの中で内で、東のでは関関のののの数と変を変でる限定内を総対で、東京の関係では、東京ので、東京ので、東京ので、東京ので、東京ので、東京ので、東京ので、東京ので	い い の 内 で に は の で で を に の で を に の で を の で を の で を の で を の で を の で の で の で の で の で の の の の の の の の の の の の の	対果的な口と はける はける きる を を を を を を を を を を を を を を を を を を	タルの定均 上を前提に: 上を前提に: が解ける が解ける が解ける 前2,前3 前7

評価割合									
	定期試験	課題	小テスト	合計					
総合評価割合	40	10	50	100					
基礎的能力	40	10	50	100					